

第74回 全日本バレーボール高等学校選手権大会

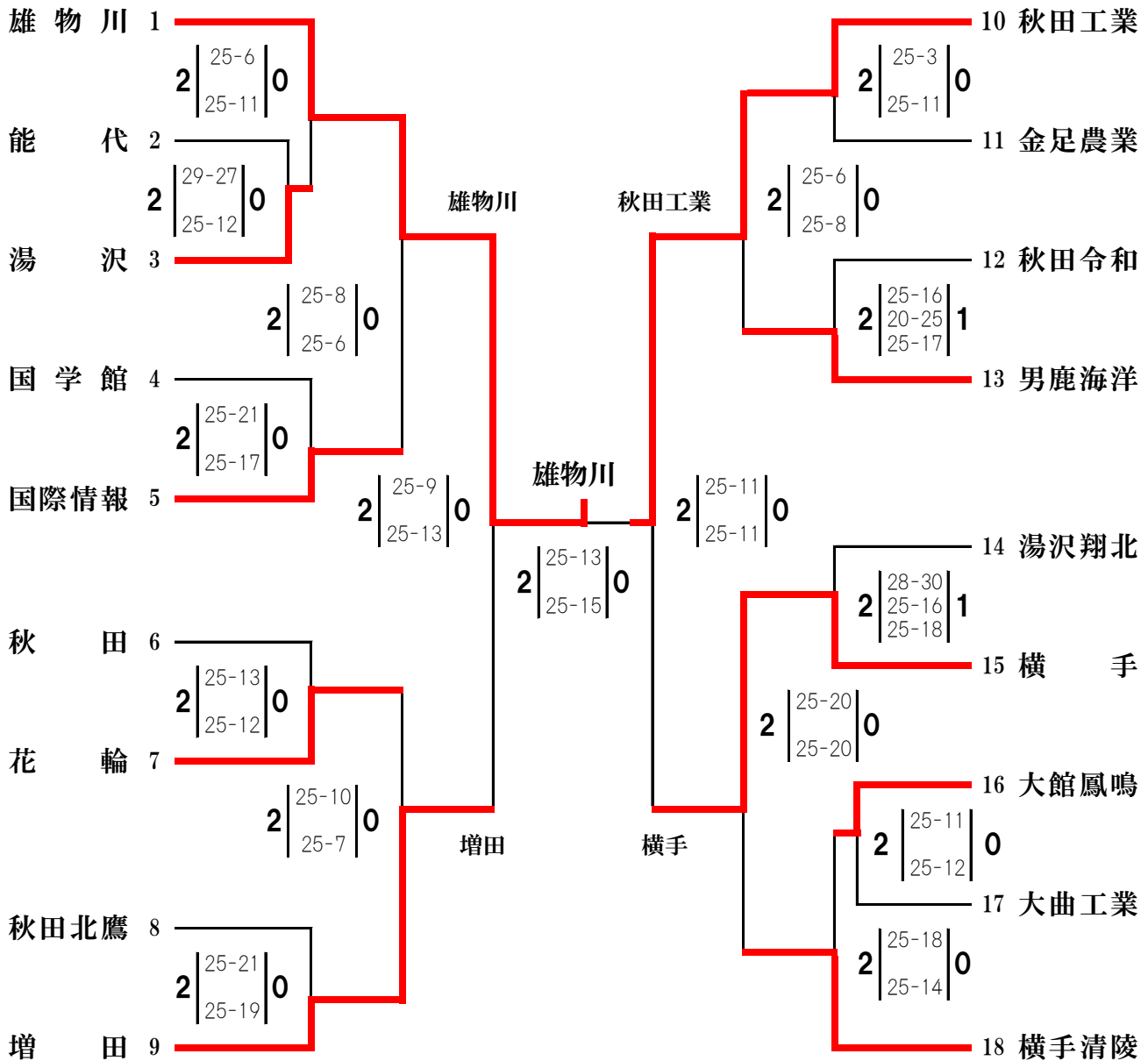
秋田県代表決定戦 試合結果

期間：2021年10月22日(金)～10月24日(日)

会場：ナイスアリーナ

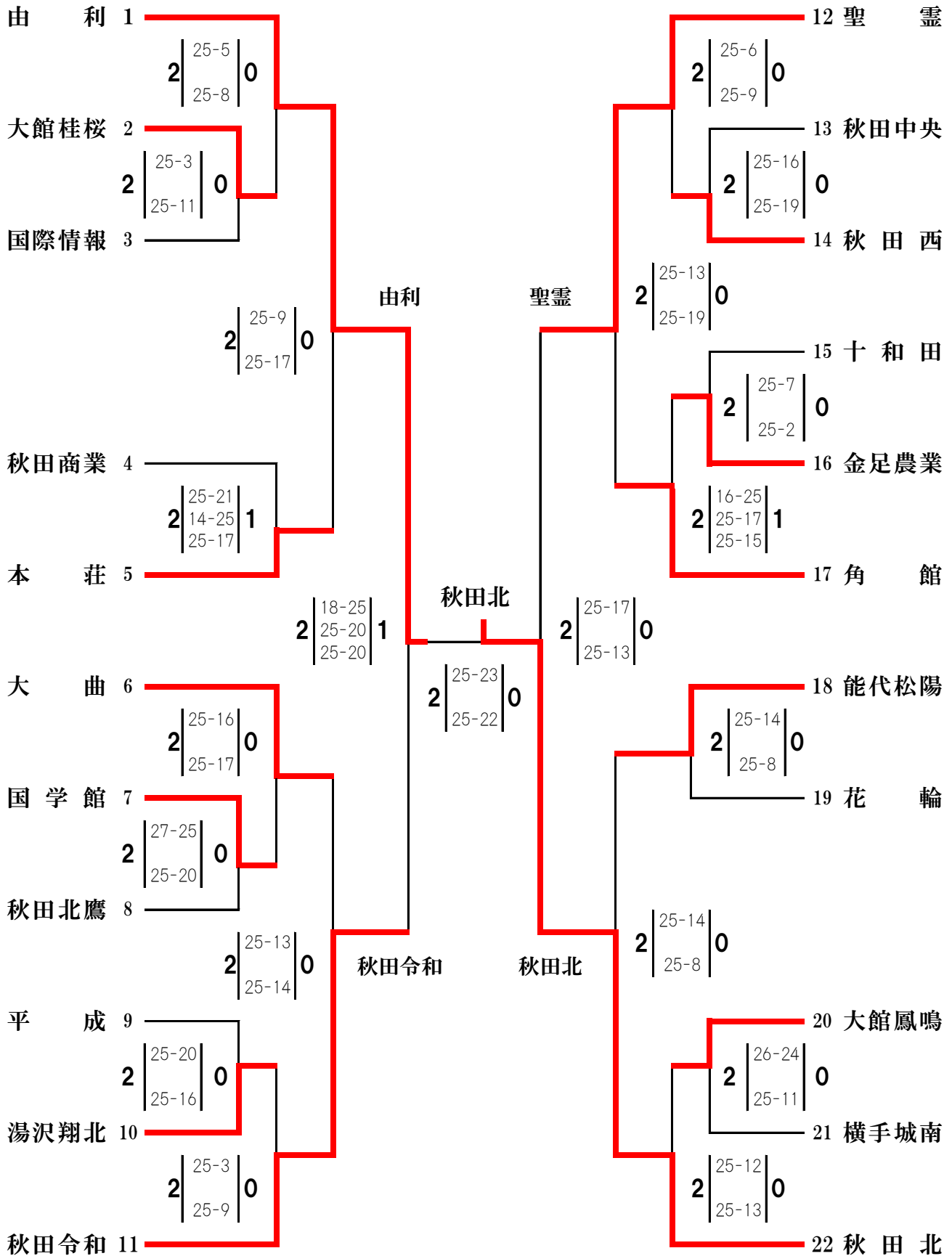
【男子結果】

優勝 雄物川高等学校 27年連続27回目の優勝  
準優勝 秋田工業高等学校



【女子結果】

優勝 秋田北高等学校 4年連続6回目  
 準優勝 由利高等学校



●第74回 全日本バレーボール高等学校選手権大会 秋田県予選会 試合結果

【 男子決勝 戦評 】

雄物川	2	25-13	0	秋田工業
秋田県代表決定戦	試合結果	25-15		

27連覇のかかる雄物川と勝てば29年ぶりの優勝となる古豪秋田工業の代表決定戦。第1セット、秋田工業は、レセプションが安定し、少年男子県代表の4番渡部の強打と、3番松田の巧打で、序盤は一進一退の攻防が続く。

雄物川は、2番角田のブロックポイントから3連続得点をあげ、リズムをつかむと、キャプテン1番石塚の打点の高いスパイクが面白いように決まり出し、第1セットを奪取した。

雄物川の勢いは第2セットも続き、石塚や角田を中心に点数を重ね、5連続ポイントを含め14-5で大きく引き離す。秋田工業もリベロ佐藤を中心に好守からキャプテン1番齊藤のスパイクで対抗するも、リリーフサーバー11番大友のサービスエースなども出るなど、リリーフプレイヤーも含め総合力の勝る雄物川高校が27連覇を達成した。

【 女子決勝 戦評 】

秋田北	2	25-23	0	由利
		25-22		

これまでの対戦でも接戦を繰り返している両チーム。第1セットから由利1番佐藤璃歩の思い切りのよいスパイク、5番加賀の巧打、対する秋田北も1番大柄と4番長澤の力強いスパイク、両チームの拾って繋ぐバレーが展開される。一進一退の攻防が終盤まで進むが、最後は秋田北長澤のサービスエースと大柄のスパイクで25-23で逃げ切った。

後のない由利は、スタートから佐藤璃歩の切れの良いスパイクや6番土田の効果的なサーブで点数を重ね7-2と大きくリードする。秋田北も大柄のフェイントや3番柴田、5番佐藤のブロックが機能しはじめ12-11と逆転に成功するとその後は両チームともに拾って繋いで接戦を繰り返すが、最後はブロックなどで4連続得点を重ねた秋田北が勝利をおさめた。